

2017 年度保健福祉センター活動報告

2018 年 4 月 3 日

I. はじめに

保健福祉センター（センター：健康サポート室、学生相談室）では、心や人間関係の相談、体に関する相談や応急処置、学生の健康診断の管理、健康教育（たより）、集団生活や実習等に関わる感染症予防対策、イベントなどへの対応、教職員の健康管理などを行うこととしているので、それぞれの項目について 2017 年度の活動を振り返り、次年度に向けた課題について整理する。

平日月～金曜日に健康サポート室、学生相談室を開き、9:00～17:00 は看護師常駐（学生長期休暇中は 9:30～16:20）で、相談員は 18:00 まで相談を受けた（4～11 月、12 月以降産前・育児休暇）。看護師、相談員が受けた全ての相談の、のべ相談件数を表 1、図 1 に示す。2017 年度は各種の相談を含め、延べ 3637 人の来室があり、2016 年度とほぼ同数であった。

II. メンタルヘルス（心や人間関係）の相談

看護師、相談員が受けたのべ相談件数は表 2 に示す。

4 月は入学進学により履修についてどのように選択判断をすればよいか、社会福祉士である相談員にアドバイスを求めに来室する学生が多かった。

5～6 月は、新しい関係を作りつつ価値観の相違に気づき始める頃であり、友人関係の悩み相談が多かった。また、看護学科の実習に際して、生活面や心のサポートが必要な学生がおり、主に看護師がサポートした。

7 月には自殺既遂があったため、関わりがあった学生と面談を行いメンタルフォローに努めた。

8～9 月は夏季休暇により対応数は少ないが、常連の学生が来室していた。

10 月は、学生の精神科受診の同行、後期が始まり対人関係の悩み相談が増えたことで相談員対応が増加した。看護師対応は常連の学生が気分の不安定さを訴えて複数回来室していた。

11 月末に相談員が産前休暇に入ったため、看護師が修学相談・支援、精神科受診同行を引き継いだ。相談対応者別の対応件数を表 3、図 2 に示す。相談員が休業に入ったからといって、メンタルヘルスに関する相談が減少したわけではない。11 月から看護師対応が増えているのは、卒業論文に取り組めない 4 年次常連学生、レポートが進まない学生の支援によるもので、2 月上旬の試験終了まで継続した。また、当該学生の就活支援は現在も継続している。相談員が不在となった 12 月以降も特性検査、学生支援会議のコーディネーターと、その後の支援を看護師が実施しているが、非常勤であり時間外の対応をせざるを得ない状況で経過している。

また、学修に問題がある学生については、発達のアンバランスがあることもあり、運営委員の奥村先生には、発達の検査をしていただき、学生にアドバイスをすることにも取り組んだ。学修上の問題には、学科など関連機関との調整であることから、小野川先生に副センター長となっただき、支援会議開催など学科・教務との調整をすすめた。2017 年度にはのべ 12 回の支援会議の開催で、特性検査関連はのべ 22 回実施となった。障害学生支援体制はまだ組織としては整っていないが、すでに支援を必要とする学生に対し、関係教員と健康サポート室スタッフで修学・生活支援を行っている。

◆今後も、メンタルヘルスや、修学の基盤である生活を整える支援も含めた関わりが必要な学生が増加すると思われる、相談員育児休暇中の対策、また、修学のための生活支援、学科・教務との連携の強化が望まれる。学科の教員の理解協力を得て、組織を立ち上げ、全学的に運営することが急務である。

図 1. のべ相談件数の推移

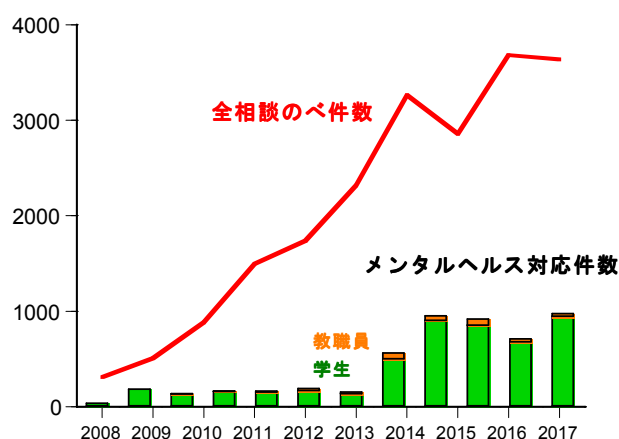


表1-1. 2017年度 相談対応のべ件数

		2017年4月				2017年5月				2017年6月				2017年7月				2017年8月				2017年9月				小計																																																																											
		E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H																																																																												
1	内科系 発熱、気分が悪い、生理痛など	学生：男											1				1								1				1		4																																																																						
		学生：女		2	5	5	3	1	10	2	3	2	9	1			6	3	1	2	1	1	1		2	1	1		2	1	61																																																																						
		教職員：男	3												1								4																																																																														
		教職員：女					1																1																																																																														
2	外科系 ケガ、火傷、虫刺されなど	学生：男			2	1			6	2			2				4		1												18																																																																						
		学生：女	6	1	19	6	3	2	11	6	2	5	6	5	3	7	12	7	2		5		1			2	1			2	111																																																																						
		教職員：男					1				3								2				7																																																																														
		教職員：女					1								2								3																																																																														
3	心の相談、生活相談、友人関係、進路のことなどの相談	学生：男			6				7			1	8			1	23			1	17			1	15			1	15		80																																																																						
		学生：女		3	69		2	5	88	2		20	61	1	7	34	45	1	1	19	13	1	1	13	9		395																																																																										
		教職員：男													2								2																																																																														
		教職員：女	1				1								4				2				11																																																																														
4	医療相談 病院に行ったほうがいいのか 受診後の報告など	学生：男			2				2				3				2					1									10																																																																						
		学生：女	4	7	8		9	2	8	1	3	10	7	4	2	3	6	3	3	1			1	1	1		84																																																																										
		教職員：男													2								2																																																																														
		教職員：女																																																																																																			
5	体重管理（定期測定）	学生：男							2				4				3				1				1				1		11																																																																						
		学生：女	1	29	7	3	1	47	8	3	9	39	6	3	13	47	5	2	1	15	2	1		4	3	1	250																																																																										
		教職員：男	1																				1																																																																														
		教職員：女																																																																																																			
6	婦人科系	学生：女	1	2	2			1	1			3	2	1			1	2							1		17																																																																										
		教職員：女																																																																																																			
7	禁煙支援・飲酒指導	学生：男																																																																																																			
		学生：女																																																																																																			
		教職員：男	4																				4																																																																														
		教職員：女																																																																																																			
8	健診・書類関係	学生：男	4		11	1	2	5	6	1	1	2	6	5	3		4		1				1	5	4		62																																																																										
		学生：女	31	46	33	10	16	30	23	10	27	39	27	24	11	26	20	9	5	12	7	9	18	19	14	26	492																																																																										
		教職員：男																																																																																																			
		教職員：女																																																																																																			
9	その他	学生：男		1	13				1		1	1	4														21																																																																										
		学生：女	25	20	100	6	11	5	37	1	9	6	41	3	8	10	55	7	6	4	16	1	5		19	1	396																																																																										
		教職員：男	8				6				4				5				4				27																																																																														
		教職員：女	6				4				5				15				17				59																																																																														
10	呼び出し	学生：男		2	2								2				1			1					1		9																																																																										
		学生：女	4	2	5	7	1	2	2	7	5	7	12	12	2	5	2	5	1	2							83																																																																										
学科別学生合計		76				115				284				39				48				100				212				35				60				135				201				59				49				133				190				39				21				56				64				14				29				43				71				31				2104			
教職員合計		23				14				12				31				25				16				121																																																																											
全合計		537				409				467				442				180				190				2225																																																																											
再掲： 医療機関へ紹介	学生：男			1				2																						3																																																																							
	学生：女	1	3	1		4	2	6	1					2	3	3		1	1							28																																																																											
	教職員：男	1												1								2																																																																															
	教職員：女																																																																																																				

注) 相談経路は直接面接したもののほか、電話、電子メールによるものも含む。

表1-2. 2017年度 相談対応のべ件数

		2017年10月				2017年11月				2017年12月				2018年1月				2018年2月				2018年3月				小計	合計
		F	K	S	H	F	K	S	H	F	K	S	H	F	K	S	H	F	K	S	H	F	K	S	H		
1 内科系 発熱、気分が悪い、生理痛など	学生：男			1																						1	5
	学生：女	2	1	12	1	1	1	11	1	2		2	1	1	2	3	2			1			1			45	106
	教職員：男	5				3								1								9	13				
	教職員：女													1								1	1				
2 外科系 ケガ、火傷、虫刺されなど	学生：男	4														2										6	24
	学生：女		2	3	1	2	7	7		1	1	1		1	2	5				1						34	145
	教職員：男	1																1				2	9				
	教職員：女					1																1	4				
3 心の相談、生活相談、友人関係、進路のことなどの相談	学生：男			13			2	22				18			2	12			1	14				7		91	171
	学生：女	4	32	44	5	2	31	57	4		27	34		1	10	34	14	1	21	34			10	9		374	769
	教職員：男													1				1				2	4				
	教職員：女	3				2				1				4				2				1				13	24
4 医療相談 病院に行ったほうがいいのか 受診後の報告など	学生：男							1		1	1															3	13
	学生：女	4	3	3		3		9		1		8		1	1	2	1			2				1		39	123
	教職員：男																									2	
	教職員：女																									0	
5 体重管理（定期測定）	学生：男	2				4				3				1												10	21
	学生：女	2	32	3	6		18	6	8	5	16	4	2		20	3	4		9	4			1			143	393
	教職員：男																									1	
	教職員：女																									0	
6 婦人科系	学生：女	1		1			1					1				1										5	22
	教職員：女																									0	
7 禁煙支援・飲酒指導	学生：男																										0
	学生：女																										0
	教職員：男																									4	
	教職員：女																									0	
8 健診・書類関係	学生：男	4	4	4		2	1	5		1	2	2		1	8			1	5	1			6	1		48	110
	学生：女	8	30	16	23	14	12	10	9	19	6	5	7	12	7	9	9	7	9	9	11	4	6	1	4	247	739
	教職員：男					1				1												2	2				
	教職員：女																					0					
9 その他	学生：男	1						2		1		4		1		2			1	1				1		14	35
	学生：女	5	12	58	18	2	13	43	9	3	9	16	1	4	4	15	8		3	12		1	8	2	1	247	643
	教職員：男	4				5				6				3				4				22	49				
	教職員：女	4				7				8				13				9				9				50	109
10 呼び出し	学生：男							1																		1	10
	学生：女		1																				1			2	85
学科別学生合計		37	117	158	54	30	86	174	31	37	62	95	11	23	56	88	38	9	49	79	11	5	33	22	5	1310	3414
教職員合計		17				19				16				21				16				13				102	223
全合計		383				340				221				226				164				78				1412	3637
再掲： 医療機関へ紹介	学生：男																										3
	学生：女	2	2	3	1	1	1	4				4														18	46
	教職員：男					1																1	3				
	教職員：女					1																1	1				

注) 相談経路は直接面接したもののほか、電話、電子メールによるものも含む。

表2-1. 2017年度 学生相談(主にメンタルヘルス)対応のべ件数(再掲)

		2017年4月				2017年5月				2017年6月				2017年7月				2017年8月				2017年9月				小計	計
		E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H		
1	対人関係	学生:男			18							2			2										22	70	
		学生:女					1	15			4	13	1		2	7			2					3	48		
2	家族関係	学生:男													2										2	19	
		学生:女			8			6				3													17		
3	学修相談	学生:男			3			4			3									10				9	30	70	
		学生:女			13		2	5			4	1		2	1				7	2			2	1	40		
4	特性検査	学生:男													1										1	10	
		学生:女						3			2	3			1										9		
5	就職相談	学生:男																		1					1	8	
		学生:女													1				1	1					7		
6	医療関係 受診同行等	学生:男			1																				1	6	
		学生:女																							5		
7	学生支援会議	学生:男						3																	3	8	
		学生:女			2			1							1									1	5		
8	その他	学生:男						3	1			1			2										7	53	
		学生:女						22			6	1	1	6				2	4		1		3		46		
9	呼び出し	学生:男																								19	
		学生:女												2	12	5									19		
	学科別学生合				46		2	1	62	1		10	34	1	5	17	31		1	11	19		1	6	15	263	282
	全合計				46				66			45			53					31				22	263		

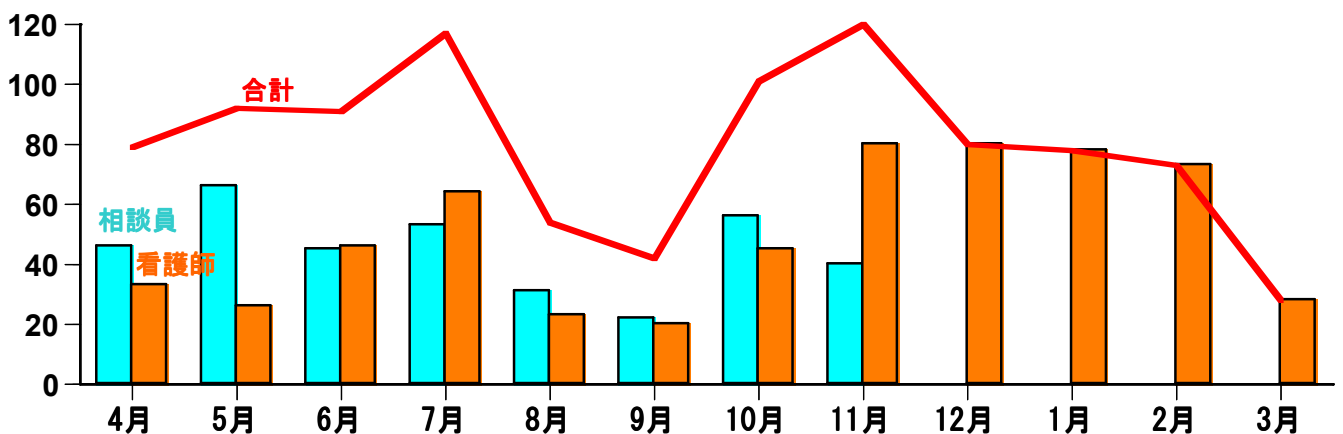
表2-2. 2017年度 学生相談(主にメンタルヘルス)対応のべ件数(再掲)

		2017年10月				2017年11月				2017年12月				2018年1月				2018年2月				2018年3月				小計	計	合計
		E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H	E	K	S	H			
1	対人関係	学生:男										1													1	64	134	
		学生:女	4	4	7	3		1	3			4	10				7	14						1	64			
2	家族関係	学生:男																							1	12	31	
		学生:女		3	4				2			1					1							2	14			
3	学修相談	学生:男			3			2				13			2	12		1	8							41	94	164
		学生:女		1	1			4	8			11	5		4	3		13	3				6		59			
4	特性検査	学生:男																								10	20	
		学生:女							3			1					1		2	3			2		12			
5	就職相談	学生:男																		5				2	5	12	20	
		学生:女																					1	2	8			
6	医療関係 受診同行等	学生:男																								33	30	36
		学生:女																							3			
7	学生支援会議	学生:男																							1	4	12	
		学生:女													1				2						3			
8	その他	学生:男							1				7							2					5	15	69	122
		学生:女							6			5	11						3	20			2	3	64			
9	呼び出し	学生:男																								24	43	
		学生:女																										24
	学科別学生合		4	10	39	3		7	30	3		27	52		1	12	46	14	1	22	48			11	17	344	368	650
	全合計				56				40			79			73					71				28	347			

表3. 2017年度 相談対応者別 学生相談(主にメンタルヘルス)対応のべ件数(再掲)

	2017年												2018年			合計									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
相談員	46	66	45	53	31	22	56	40																	359
看護師	33	26	46	64	23	20	45	80	80	78	73	28	28	596											
計	79	92	91	117	54	42	101	120	80	78	73	28	955												

図2. 2017年度 相談対応者別 学生相談(主にメンタルヘルス)対応のべ件数(再掲)



Ⅲ. 体に関する相談や応急処置

●平日 9:00~17:00 には看護師が常駐し、生理痛・頭痛・腹痛等の体調不良、軽い擦り傷・切り傷、軽い捻挫、湿疹などに対応した。ベッドでの休憩が必要な際には恵陵館健康サポート室、本館休養室のベッドを使用した。擦り傷などには積極的に湿潤療法での治療を試みた。体調不良で動くことも困難な学生が無理をして健康サポート室まで来ることがないように、内線で看護師を呼べば迎えに行くため、学内の電話には健康サポート室の内線番号を貼っている。

◆体に関する相談や応急処置の件数は、心や人間関係の相談に比べると年毎の増加率は少ないが、医薬品には使用期限や使用できる制限があり、医療器具、消耗品類の必要数や種類について今後も検討していく。

Ⅳ. 学生の健康診断

●健康診断は学校保健安全法に従い、全学生を対象にして、北海道結核予防会札幌複十字検診センターに委託して行った。身長、体重、自動血圧計による血圧、内科検診は全員、胸部レントゲン検査は1年次と卒業年次の学生を対象に実施した。内科検診で精密検査となった学生もいたが、精密検査で異常であったものはいなかった。血圧が高かった者は、健康サポート室で再検したが、多くは再検では正常であった。肥満傾向、やせすぎ、再検にても血圧が高い学生については、看護師の助言、昼休みのラジオ体操、定期的な計測で経過を見ている。BMIが正常内でももっと痩せたいと希望する学生には、健康的に体重管理ができるよう対応している。

2013年度以降、新入生に対し、うつ傾向を測定する PHQ-9 質問項目、ADHD・ASD スクリーニング検査簡易版（信州大学）、LD 傾向質問（国立特別支援教育総合研究所、学生支援機構）を含む心の健康診断も実施し、問題があると考えられる回答をした学生を呼び出して面接している。呼び出した時点では特に問題を自覚していない学生も多かったが、長期的に見ると欠席が目立つなど学修が進まない学生ほど点数が高い傾向があった。

また、2017年度には運営委員の奥村先生を中心とし、1年生に「学修上の困難さに関するセルフチェックリスト」を実施し、授業の受け方についての講和も実施した。

保健福祉センターは診療所であり、視力計やオージオメーターがあるので、健康診断書を発行できる体制は整備できている。ただし、血液検査はできないので、その際には市内医療機関の受診を勧めている。看護師・保健師免許申請の際に保健所に提出する健康診断書の発行要請についてはほとんどの学生の希望があり対応した。また、就職試験や実習などで健康診断書が必要な場合も対応している。

◆1年生に対する PHQ-9 質問項目、ADHD・ASD スクリーニング検査簡易版、LD 傾向質問を含む心の健康診断は今後も継続する。「学修上の困難さに関するセルフチェックリスト」は2018年度には、1年生ばかりではなく全学年で実施する。

健康診断後の体重管理については効果がある場合と、そうではない場合があった。効果的な方法について検討したい。

Ⅴ. 健康教育

●救急救命講座

パーソナルトレーニングキット（ミニアン）を利用した学内での救急救命講座を実施した。学生に対しては必修科目の一部を活用し、1年生には全学科で実施できた。教職員にも呼びかけたが参加はなかった。

昨年度に引き続き、胸部圧迫のみのトレーニングキット（あっぱ君）を用い、市民を対象に実施した。名寄高校1年生106名全員を対象に講座を開催した。

◆本学の5つの建物全てにAEDが整備され、収納ボックスも目立つように整備されている。来年度以降も学内の全学生と全教職員がいざというときに対応できるよう、パーソナルトレーニングキットを利用した救急救命講座を実施していきたい。市役所の市民出前講座に加えてもらっているので、働き盛りの年齢層への普及にも努めたい。

●学サポだより

2016年度は3号まで発行した。1、2号は年度当初のお知らせで、3号には北海道でも始まった日本脳炎の予防接種、市との連携で「なよろ健康マイレージ」などの記事を掲載した。発行回数は減少傾向にある。

◆たよりの発行回数が減少傾向であるので、今後、運営委員の先生方にも記事を依頼するなど工夫したい。

●自己健康管理（セルフメディケーション）についての啓発

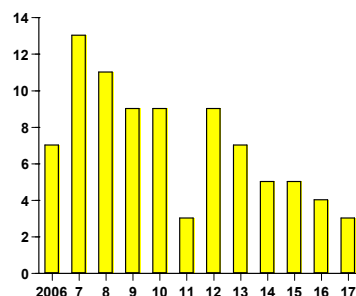
2009年度、インフルエンザの大きな流行があった際に、学生の中に体温計を所持していない学生がいることが判明した。体温計などの簡単な医療器具、医薬品、消耗品類をどの程度準備しているかの調査も行い、その結果に

基づいて、自らの健康管理のためにどのような医療器具や医薬品が必要かを、具体的な商品名まであげた注意文書を、入学予定者の保護者あてに入学関連書類とあわせて送付している。2011年度には自己健康管理（セルフメディケーション）についての調査を実施し、注意文書が役立ったとの調査結果を得たので、2012年度以降の入学予定者にも同様の注意文書を送付している。今年度は保護者へのお知らせについて見直しを行った。

また、2013年度から調査事業として、学生の出生時の状況を調査し、健康診断結果や発達障害傾向との関連を見ることにした。その中で保護者への質問票に、入学生の心身のことで保護者が気になることを記載してもらう欄を設けた。

◆今後とも同様の注意文書を送付する。調査事業は2017年度で終了し、結果をまとめたい。

図2. たよりの発行回数



VI. 感染症予防対策

●北海道結核予防会札幌複十字検診センターに委託して、全ての新生児に、罹患歴にかかわらず麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎の抗体検査、IGRA検査と胸部レントゲン検査、看護学科新生児全員にはC型肝炎の抗体検査を実施した。また、3年生にも麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎の抗体検査を実施した。抗体価が低い者には医療機関への紹介状を発行し予防接種を受けるよう勧奨した。判定基準は、日本環境感染学会が2014年に公表した「院内感染対策としてのワクチンガイドライン:第2版」に従っている。実際に受けたかどうかの調査をするため、予防接種を受けた医療機関でサインをしてもらうように、学生に接種証明用の確認書用紙を配布した。接種証明用の確認書用紙が提出されたものには、後援会から支援金を支給している。新任教職員の中に若い職員がいる場合には罹患歴、ワクチン歴調査を実施し、抗体検査を勧めた。

インフルエンザ、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎（ノロウイルス）などの第二、三種感染症は例年のように散発したが、学校保健安全法に従い大学に届け指示を仰ぐよう啓発した。

◆今後も、1年生全員の上記の抗体検査を実施する。学外実習の多くが、3年生で実施されるようになったので、2年生の早期に接種を終了するように勧奨をする。

VII. イベントなどへの対応

●宿泊オリエンテーションへの対応

社会保育学科が西興部村・ホテル森夢で開催する1泊の宿泊オリエンテーションに健康管理ということで参加した。事前にアンケートを実施し、既往歴や集団生活で困ることなどを調査した上で、センター長が随行した。大きな事故はなかった。看護学科の宿泊オリエンテーションでも、社会保育学科と同様の調査を実施し、看護学科の教員に情報提供した。

◆宿泊オリエンテーションを実施する社会保育学科と、看護学科には、今後とも同様の対応をして、安全を期したい。

●大学祭への対応

大学祭の時の健康管理や事故対応については、これまでと同様に看護学科の先生方にお願ひし救護班を組織

した。対応した事例は表2のとおり、延べ7名、実7名でありいずれも軽症であった。大学祭とは関係がない外傷もあった。看護学科救護班の先生方には、健康サポート室に出向いていただき、あるいは連絡や引継ぎを丁寧にしていただいたので、対応がスムーズであった。

表2. 大学祭での対応

	日程	学生／学外者	疾病等	対応
1	7/15	1S 学生	転倒で擦過傷	保湿用絆創膏貼付
2	7/16	1H 学生	靴擦れ	保湿用絆創膏貼付

◆2017 年度も同様の対応をする。

●入試への対応

入試に当たっては、事務局より、受験生の救護の依頼を受けた。前期は3会場、後期は札幌2会場であったので、看護師だけでは対応できず、看護学科の先生に依頼してもらった。対応が必要な受験生はいなかった。

◆今後も依頼があれば、同様の対応をする。

●入学式、卒業式への対応

式典の最中に体調不良を訴える学生が出る可能性があるので、車椅子を用意して看護師が式に立ち会った。

◆今後も同様の対応をする。

VIII. 学内の安全対策、健康管理

●体重管理

健康診断で BMI が 18.5 未満、あるいは 25 以上の学生を体重管理の対象とした。

表3. 体重管理の状況

	低体重 18.5 未満	過体重 25 以上 30 未満	肥満 30 以上
BMI 対象者	83	56	9
健康サポート室で支援	8	3	0
BMI30 以上の肥満者は呼び出しても来室せず、支援できなかった。 BMI 正常範囲のダイエット希望者が 32 名で、体重変化は少なかった。			

BMI が正常範囲でも健康的なダイエットを希望し、来室していた学生が多数おり、年間体重管理者数は延べ 451 名であった。

◆2017 年度にも継続したいが、体重管理のためには、モチベーションの維持が課題である。

●料理教室

4 月 19 日に、新入生で初めての一人暮らし、初めての自炊をしている学生を対象に「チョコかんたん、お料理教室」を開催した。9 名の参加者と共に包丁も火も使わない、レンジ料理を 4 品作り、試食した。簡単でおいしいと好評であった。

◆2017 年度にも継続したい。

●学内禁煙

本学は敷地を含み学内禁煙であることから、公衆衛生学の講義の一コマで担当教員により喫煙対策を周知する健康教育を実施してもらった。健康サポート室では、喫煙者で禁煙を希望する場合は、市内医療機関の禁煙外来への紹介状を書くといったサポートをすることを周知したが、相談者は少なく、いずれも禁煙には至っていない。

◆ガイダンスでの健康教育では十分な時間が取れないので、今後も必修科目のコマを利用して健康教育と調査を実施する。喫煙者で禁煙を希望する場合は、市内禁煙外来への紹介状を書くといったサポートを何度も周知する。

●アルコール対策

毎年のように各地の大学でアルコール一気飲みの事故が起きている。本学の学生の中にも飲酒で問題を起こした学生がいた。新入生のガイダンスで、アルコールパッチテストを実施し、その機会にアルコールに対す

る適切な対応について健康教育をする機会を設けた。

◆今後も新入生のガイダンスで、アルコールパッチテストを実施し、その機会にアルコールに対する適切な対応について健康教育をする機会を設ける。

●教室の照度検査

◆欠灯など問題がある点は毎年事務局に報告している。定期的な照度検査は継続する。

IX. ホームページ、年報

●年報 10 号を発行し、大学のホームページに掲載し、本学の教職員、全国保健管理協会北海道地方会に加盟している道内の大学、短期大学、高等専門学校に連絡した。

◆来年度も引き続き、ホームページの更新と充実に努める。年報はホームページ上に公表する。

X. 医療安全対策

●医療安全管理指針、学内感染対策指針、医薬品の安全使用のための業務手順書、医療機器の安全使用と保守点検のための業務手順書を定めホームページ上に公表している。医療安全管理者にセンター長、医薬品安全管理責任者と医療機器安全管理責任者に看護師を指名している。今年度、問題になるような事故はなかった。

◆2018 年度も台帳の管理を確実にするなど、安全対策が確実に実施されるように努める。

XI. 学会、研究集会活動

●第 55 回全国大学保健管理協会北海道地方部会研究集会（9 月：北見）にセンター長、看護師、相談員が参加した。第 55 回全国大学保健管理協会研究集会（11 月：沖縄）に奥村先生、小野川先生が参加し、奥村先生が、1 年生に実施した「学修上の困難さに関するセルフチェックリスト」の結果をまとめて、「専門職養成の保健福祉系大学における学修上の困難（1）—質問紙を用いた予備的検討—」という演題で発表を行った。

◆2018 年度には第 56 回全国大学保健管理協会北海道地方部会研究集会：小樽、第 56 回全国大学保健管理協会研究集会：東京に参加して、調査結果を公表するなど、他大学保健管理部門との交流と研修を図る予定である。

保健福祉センター運営委員：委員長 大見広規、土屋陽子、小野川文子、奥村香澄
看護師：村中弘美、平野治子、宮崎八千代
相談員：松浦なつみ